

福祉医療費受給者の小児慢性特定疾患医療受給者に係る公費患者一部負担額等の請求方法について

1 請求方法

福祉医療費【連記式】明細書を使用し、現行の「特」請求分(法別番号51等)と同様の取扱いになります。
 ※「特」請求分 = 総括表及び請求書の「特」を○で囲む請求になります。

2 福祉医療費【連記式】明細書、請求書及び総括表の記載方法

(1) 福祉医療費【連記式】明細書

記載例 (3歳未満2割入院の場合)

① 総点数30,000点のうち公費対象点数30,000点、公費患者一部負担額2,200円の場合(例Ⅰ参照)

② 総点数30,000点のうち公費対象点数20,000点、公費患者一部負担額2,200円
 入院時食事療養の標準負担額7,800円(10日分)が公費対象外の場合 …… (例Ⅱ参照)

福祉医療費請求額欄 = (10,000点 × 2) + 2,200円 = 22,200円
 食事療養標準負担額欄 = 780円 × 10日 = 7,800円

③ 総点数30,000点のうち公費対象点数20,000点、公費患者一部負担額0円
 入院時食事療養の標準負担額7,800円(10日分)が公費対象外の場合 …… (例Ⅲ参照)

福祉医療費請求額欄 = (10,000点 × 2) = 20,000円
 食事療養標準負担額欄 = 780円 × 10日 = 7,800円

医科	歯科	都道府県番号	10	医療機関コード	下			
平成 年 月分福祉医療費【連記式】明細書(入院)								
市町村長 様								
受給者番号	保険医療機関の所在地及び名称(電話番号)				割合等			
受給者番号					1 一般			
					2 70歳以上			
					3 一人			
					4 70歳以上			
					5 小児慢性			
					6 老人			
					7 別			
					8 老人			
					9 52			
受給者番号	年齢別	性別	氏名	点数	福祉医療費請求額	食事日数	食事療養標準負担額	備考
例Ⅰ	1 健康 2 病中 3 共同 4 国保 5 国保	① 男	健保一郎 (例) 如男・大田・平 19 7 30 生	30,000	2,200			
例Ⅱ	1 健康 2 病中 3 共同 4 国保 5 国保	② 男	組台一郎 (例) 如男・大田・平 11 7 30 生	10,000 30,000	22,200	10	7,800	
例Ⅲ	1 健康 2 病中 3 共同 4 国保 5 国保	③ 男	国保一郎 (例) 如男・大田・平 16 7 30 生	10,000 30,000	20,000	10	7,800	

割合等欄は、該当する割合等を○で囲んでください。また1割、2割欄については、該当する区分も○で囲んでください。

上段に福祉分点数、下段に総点数を記載してください。

小児慢性特定疾患の法別番号「52」を記載してください。

※ 入院外も同様です。

(2) 福祉医療費【連記式】請求書
 他の「特」請求分と同様です。

(3) 福祉医療費【連記式】請求総括表
 他の「特」請求分と同様です。